



ジュンサイ



ミズユキノシタ



かいぼりを終えた今年4月中旬の長池＝東京都八王子市で（いずれも長池公園提供）

かいぼりしたら…絶滅種復活

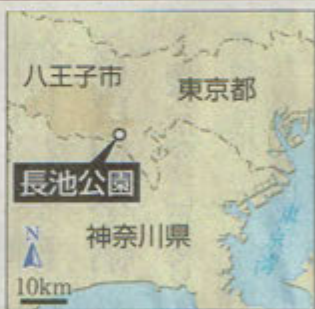
八王子の長池

東京都内では絶滅したとされる水生植物の「ジュンサイ」と「ミズユキノシタ」が、八王子市東南部の長池公園内のため池「長池」で見つかっていたことが分

った。公園によると、一九五九年の調査では生息が確認されていたが、六七年の干ばつで完全に姿を消したとされる。記録で確認できる範囲では、六十一年ぶ

りの復活という。昨年十一月～今年二月に外来種駆除や水質改善などのため実施した、池の水を抜いて入れ替える「かいぼり」により、池の底に埋も

れた泥土の中の種子が発芽したとみられる。同公園の園長で、都レックドリスト改定植物専門部会委員を務める内野秀重さん（左）が今年五月から六月



にかけて、池でジュンサイ数株とミズユキノシタ多数を発見。ジュンサイは鉢に植え替えて保全している。内野さんによると、ジュンサイは水辺の水質悪化に伴い、国内で激減。都や神奈川県、埼玉両県のレッドリストでは「絶滅種」（EX）に分類されている。ぬめりのある若芽が食材として人気で、秋田県内では特産品として栽培されている。ミズユキノシタは湿地や浅い

水中で育つアカバナ科の多年草。都や神奈川県では絶滅種に分類されている。近年、かいぼりによる生態系の改善効果が注目され、希少な水生植物の復活例が相次いでいる。四年前には三鷹市の井の頭池で、都内では姿を消していたイノカシラフラスコモの復活

が話題になった。長池は特別保全ゾーンのため非公開で、見学のために来園者の立ち入りはできない。ただ、公園はかいぼりの成果として披露するため、園内の来園者向け施設「長池公園自然館」で一部公開を検討している。（花井勝規）